

林業技術センター
普及班便り
(第27回)

いわての林業人6

一 はじめに

今月の普及班便りでは、岩手町の
荻宿誠人さんをご紹介します。



荻宿 誠人さん

二 人物紹介 「プロフィール」

荻宿さんは岩手町の生まれ。

ご実家は(有)岩手木材運送を経営されており、小さい頃から親に連れられて山の現場へ行っていたそう
で、TWがゆりかご代わりだったと
のこと。

常に山が身近にあり、山で遊ぶのが好きだった、とおっしゃる荻宿さん、子供のころはウインチでのけん引作業を手伝ってお小遣いをもらっ

たりしていたそうです。

学校卒業後、某国産大型トラックメーカーに勤務し、機械整備などを担当されていたそうですが、家業を継ぐために会社を辞め、平成16年から(有)岩手木材運送で働いておられます。

平成18年には岩手県林業作業士(グリーンマイスター)を取得され、重機のオペレーターから大型トラックの運転手まで、様々な仕事に精を出されています。

荻宿さんに趣味をお聞きしたところスポーツが大好きとのこと、学生時代にはその大きな体を生かして柔道をされていたそうです。

現在は、友達とフットサルのチームを作って楽しんでおられるとのこと、大会にも出場されているそうです。

三 仕事の状況

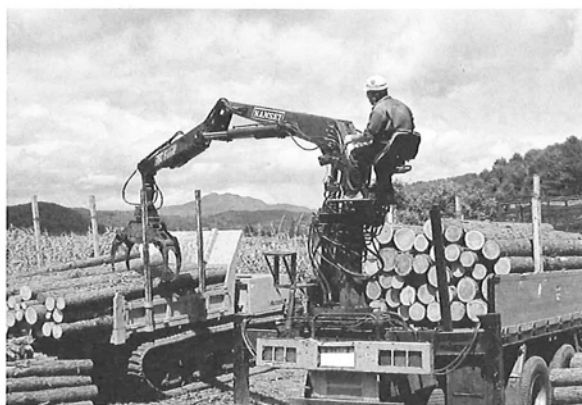
(1) 山での仕事

荻宿さんのお父さんが代表を務められている(有)岩手木材運送の主な業務は、立木の買い取り林産、チップ運搬、チップ工場の共同経営のほか、数年前から乾しいたけ生産も始められるなど、多岐にわたっています。

荻宿さんの主な仕事は、現場の道路取り付け作業、トラックでの木材

運搬、自社のトラックや重機の修理などだそうです。

今回お邪魔した現場では、カラマツの皆伐作業現場から運び出した木材をトラックに積み込む作業が行われており、木材は岩手町内の製材所に納入すること。前の週には宮古まで木材を運んだとのこと、県内各地を忙しく走り回っている様子でした。



取材の日は土場で丸太積み込み作業を見学

(2) 今後の目標

会社の役員で経営者でもある荻宿さんは、如何にして経費を削減し、利益を上げるかなど、常にコスト意識を持って作業することを心がけて

いるとのこと。

将来の目標をお聞きしたところ、会社を今よりも大きく発展させることと力強く語ってくださいました。将来の社長として、明るく元気に走り続ける姿を見て、エネルギーを分けてもらったような気がしました。



頭の中は常にコスト削減!

四 おわりに

普及班便りでは、これから森林・林業に携わるさまざまな方々を紹介していきます。

皆様の地域で活躍されている方がおられたならご連絡ください。

林業技術センター普及班